

お取引先さま各位

## カカオ・チョコレート週刊ニュース 12号

2012/8/20 発行

株式会社 立花商店

生田 渉

お世話になります。カカオ・チョコレート関連のニュースを前週の出来毎の中から注目ニュースを5本程度ピックアップして、発行しています。カカオやチョコレート中心に取り扱っております弊社と致しましては、広く関係者の方々に読んでいただけるように、少しずつでも有益な情報をお届けできればと考えております。宜しくお願い致します。

### 1、弊社独自報告：シエラレオネのカカオ農家30名がガーナで研修ツアーを実施

弊社が取り組んでいるシエラレオネカカオ豆事業において、事業パートナーであるシエラレオネ国のカカオ商社であるKCL社の母体である3地区の生産者組合のカカオ農家一行がガーナの優良農家や、カカオ加工工場を訪問するカカオ・チョコレート研修ツアーを実施した。

今回参加したのは、3地区の生産者組合を運営する職員及び地区を代表し選ばれた優秀な農家等合計30名程。世界銀行のプロジェクトの一環として企画され、ガーナでのいくつかの研修を弊社にて企画した。ガーナにて、カカオ産業を管轄するココアボードの倉庫見学、ガーナで最初のカカオ生産者組合として有名なクワパココ生産者組合、カカオ豆を加工する加工工場など、主要な組織を訪問し、様々な事項を学習した。

その研修内容の一部をご紹介します。

#### A)カカオ生産・栽培方法に関する研修風景



ココアボードのココア研究所にてカカオ豆の発酵方法を学習。自らの農家で実践している方法等について沢山の質問が出る真剣且つ活発な意見交換。



同ココア研究所にて苗木の作り方を学習。

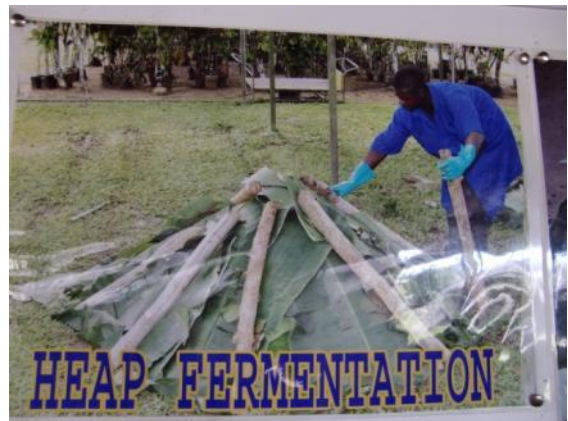
\*現在シエラレオネでも苗木の大量生産を行い、収穫数量の拡大計画を行っている為、興味深く聞き入る。

\*参考資料

《カカオ豆の発酵方法の色々》



①ボックス法：ガーナでも一般的ではなく大規模農家向け ②バスケット法：少量に適している為、シエラ農家で一般的



③トレイ法：発酵途中の攪拌が不要で均一な発酵が期待できる。④バナナリーフ発酵法：西アフリカで最も一般的

ガーナのカカオ生産者組合クワパココ生産者組合の優良農家を訪問し、農園の管理方法などを研修



《クワパココの農家に訪問の際に調査出来た、現在ガーナの農園での代表的なカカオ品種》

①ハイブリッド (45粒-60粒/ポッド)

アメロナード×アマゾン

アマゾン×アマゾン

ガーナで最も一般的な品種で病害に強く、生産性が高い。また種を植えてから3年で商業生産開始可能。

②トリニタリオ (45粒-60粒/ポッド)

現在では商業的に増やされてはいない。昔植えられたものが維持されている。もしくは農家が独自で増やしていることに起因する。



③アマゾン/アメロナード 単一種 (30-40 粒/ポッド)

元々ガーナに当初入植したタイプの品種。ハイブリッドに比べるとカカオポッドも小さく、中のビーンズの数も少ない。



B)カカオ原料への加工方法についての研修



弊社が代理店を務める、CPI&NICHE 社に訪問し、カカオ豆をどのようにカカオマス、ココアバター、カカオパウダー等の加工品へ製造するかを農家の方々に知ってもらった。

自分達の農家から出荷されたカカオ豆がどのように検査され、加工されるかをしることで、なぜ発酵が重要か、なぜ乾燥が重要か、などを実感として感じて納得していた。

現在まで弊社の取り組む生産者からのシエラレオネ産のカカオ豆のガーナ産カカオ豆と比較した場合の評価は下記の通り。

《シエラレオネ産カカオ豆特徴》

カカオ豆の風味：ガーナと非常に類似したベースタイプのビーンズ（酸味が強い）

発酵：ガーナ同様以上の良い発酵状態

乾燥：5-6%の水分値で非常に乾燥に優れている。

価格：ガーナより5～10%程前後安い

農薬：使用実績なし

デメリット：数量が限定的

2012年新物の予測で3つの生産者組合合計で約1,000トン程の取扱数量

最大の特徴として：

農薬使用がないという安全面や価格訴求に加えて、全てトレイス可能なカカオ豆となっており生産者の村まで写真でお見せすることも可能で、また農家毎の集荷数量も把握が可能です。

2012年度さんからはフェアトレード認定も取得する為、そのような背景のあるカカオ豆原料として商品に訴求することも可能です。

日本では無名な産地ですが、カカオ豆の品質と土壌条件などを考慮すると、非常に可能性のある産地ですので、ご興味のある方は何なりとお問い合わせください。カカオマスなど加工品での販売も可能ですので何卒宜しくお願い致します。

## 2、ブラジルのカカオ豆生産者、値上がり期待で供給手控え＝バイア州(8/13)

ブラジルのカカオ豆主産地のバイア州商業協会やアナリストらのデータによると、同州のカカオ豆生産者は値上がり期待感から供給を遅らせたり、売却を手控えたりなどしており、トレーダーの倉庫への受け渡しペースが減速している。

同州のアナリスト、トーマス・ハートマン氏は週報の中で、先物相場が7月中旬以来堅調に上伸していることを踏まえ、農家や取引業者が手持ちのカカオ豆の大半を保持していると指摘した。ただ13日の先物相場は、テクニカル売りの兆候が西アフリカの収穫懸念を相殺したことを背景に、9カ月ぶりの高値水準から下落した。これを受けてブラジルの生産者が、市場での売却を再開する可能性が指摘されている。

### 3、ブラジルのカカオ豆 8月までの集荷数量（輸入含む）は前年対比 35%増加

ブラジルのカカオ豆倉庫への 5月 1日から 8月までの集荷数量（輸入されたものを含む）が前年同期間と比べ 35%増加になったことがバイア州の商業省の統計で判明した。

2012年 集荷数量 60kg 袋入り 2012年 5月 1日～7月 31日まで

	先週	合計（60kg 袋）	合計（トン）
Bahia	60,017	1,172,669	70,360
Other states	25,540	536,775	32,206
Other nations	0	101,485	6,089
Total	85,557	1,810,929	108,655

2011年 集荷数量 60kg 袋入り 2011年 5月 1日～7月 31日まで

	週	合計（60kg 袋）	合計（トン）
Bahia	56,225	959,517	57,571
Other states	24,485	303,283	18,196
Other nations	83,973	83,973	5,038
Total	164,683	1,346,773	80,805

### 4、2011～2012年度、カメルーンのカカオ豆輸出、前年比 10%超減少(8/18)

カメルーンのココア・コーヒー委員会（NCCB）が 17日発表した暫定統計によると、2011～12年度の同国カカオ豆輸出量は 17万 9587 トンで、前年比 10%超減少した。7月単月の輸出量は 5188 トンで、前月の 3169 トン、前年同月の 3453 トンを上回った。

今年の生産は、ミッドクロップの生産が害虫で打撃を受けたことや、通常なら 3月中旬に終わる乾燥期が、4月半ばまで続いたことから減少が見込まれている。カメルーンは世界 5位のカカオ豆生産国。10～11年度の実産量は過去最高の 24万トンだった。カカオ開発公社（SODECAO）は 11～12年度の実産量が 25万トンに達するとの見通しを示しているが、他の業界団体では前年比 10～15%減と予想している。

### 5、コートジボアール、サンペドロ港向けの年間カカオ豆集荷数量 624,642 トンに(8/15)

コートジボアールのコーヒー・ココア委員会の発表によると、昨年 10月 1日から 7月 29日までにコートジボアールの主要な輸出港であるサンペドロ港に集荷されたカカオ豆の数量は 624,642 トンとなった。

2010/2011 シーズンの同時期の集荷数量は 533,272 トンであった。

7/23～7/29 までの 1週間での同港への集荷数量は 6,252 トンで昨年同時期は 5,258 トンであった。

下記の統計は、7月 29日までの同港に集荷されたカカオ豆の企業別の数量内訳である。

輸出者企業名 <b>*は国内加工業者</b>	7月23～29	年間合計（10/1～）*単位トン
<b><u>*SACO-Barry Callebaut (Switzerland)</u></b>	0	107,095
SAF-CACAO	2,077	92,360
Cargill West Africa (U.S)	1,281	80,304
ADM Cocoa Sifca-ADM Cocoa (U.S)	0	74,381
TOUTON Negoce (France)	0	46,299
OUTSPAN-OLAM (Singapore)	524	43,273
CEMOI-Cantallou (France)	0	30,452
ARMAJARO (U.K)	738	27,371
<b><u>*SUCSO</u></b>	591	24,612
ZAMACOM-Ecom Trading (Switzerland)	186	23,914
COCAF-NOBLE (Singapore)	0	18,006
NOVEL (Switzerland)	0	12,626
2CICS	0	10,693
Cipexi	855	9,026
GCOMCI	0	7,549
COOPADIS	0	6,417
SIVECCO	0	4,722
Omnivalue	0	2,360
RENCO	0	1,857
Miral	0	915
CAS	0	410
Total	<b><u>6,252</u></b>	<b><u>624,642</u></b>

\*ニュースソースは特記がない場合以外は、ロイター通信社の情報を加工し提供しています。

《お問い合わせ先、配信希望または、停止のご連絡先》

株式会社 立花商店 東京支店 生田 TEL03-5783-3545 w-ikuta@tachibana-grp.co.jp